

EXTERNAL INCENTIVE SYSTEM, EXTERNAL INCENTIVE METHOD, STORING MEDIUM STORING EXTERNAL INCENTIVE PROGRAM, INFORMATION PROCESSING SERVER, AND AUTHENTICATION SERVER

Patent number: JP2002183462
Publication date: 2002-06-28
Inventor: SAKIYAMA TAMOTSU
Applicant: SAKIYAMA TAMOTSU
Classification:
- international: (IPC1-7): G06F17/60
- european:
Application number: JP20000382781 20001215
Priority number(s): JP20000382781 20001215

[View INPADOC patent family](#)

Abstract of JP2002183462

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an external incentive system capable of enhancing incentive. **SOLUTION:** This external incentive system 1 is constituted by a contractor personal computer 3 for conducting an application concerning a target to be achieved and a target achieving time of an executing person and an application concerning a premium payment method; an authentication server 5 for authenticating the application concerning the application of the target to be achieved and the target achieving time from the contractor personal computer 3 when the completion of the premium payment is recognized; and an information processing server 7 for registering the authenticated application content of the contractor from the authentication server 5 in the database, referring to the data base when receiving the application from the contractor that the target is achieved within the target achieving time, answering properness when it fits the application content, and advising the payment of insurance money.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-183462

(P2002-183462A)

(43) 公開日 平成14年6月28日 (2002.6.28)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 Z 5 B 0 5 J
	Z E C		2 3 4 E
			Z E C

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2000-382781(P2000-382781)

(22) 出願日 平成12年12月15日 (2000.12.15)

(71) 出願人 500573075

嵯山 保

千葉県柏市東上町2-19-102

(72) 発明者 嵯山 保

千葉県柏市東上町2-19-102

(74) 代理人 100091225

弁理士 仲野 均 (外1名)

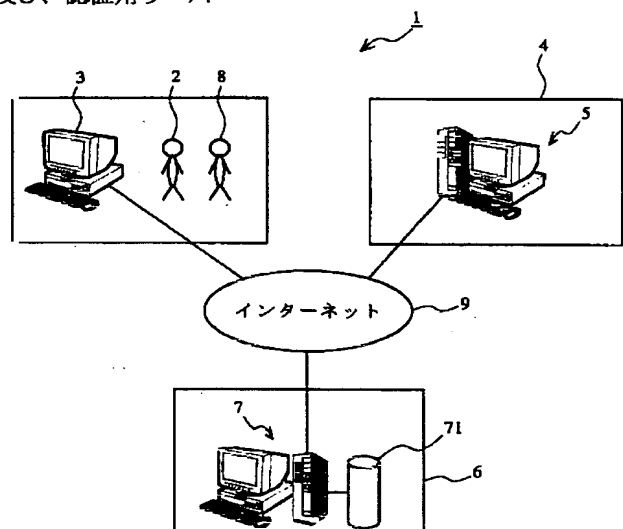
Fターム(参考) 5B055 CC00 EE27 FA00 FB00

(54) 【発明の名称】 外部インセンティブ・システム、外部インセンティブ方法、外部インセンティブプログラムが記憶された記憶媒体、情報処理サーバー、及び、認証用サーバー

(57) 【要約】

【課題】 インセンティブ（動機付け）を高めることができるようにした外部インセンティブ・システムの提供。

【解決手段】 外部インセンティブ・システム1は、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを行なう契約者用パーソナルコンピュータ3と、契約者用パーソナルコンピュータ3からの達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに認証を行なう認証用サーバー5と、認証用サーバー5からの当該認証した契約者の申し込み内容をデータベースに登録し、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、データベースを参照して申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し保険金の支払いを促す情報処理サーバー7とからなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを行なう契約者用処理装置と、当該契約者用処理装置からの達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに認証を行なう認証用サーバーと、前記認証用サーバーからの当該認証した契約者の申し込み内容をデータベースに登録し、かつ、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、当該データベースを参照して当該申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し保険金の支払いを促す情報処理サーバーとを備えたことを特徴とする外部インセンティブ・システム。

【請求項2】 実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを受け付ける第1のステップと、この第1のステップにおける達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認する第2のステップと、この第2のステップで保険金の支払いを確認したとき、第1のステップで受け付けた申し込み内容を登録する第3のステップと、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の通知を受領する第4のステップと、この第4のステップで通知を受領したとき、第3のステップでの登録内容を参照して当該申し込み内容に適合したか否かを判断する第5のステップと、この第5のステップで当該申し込み内容に適合したと判断されたときに、保険金の支払いを行う第6のステップと、からなることを特徴とする外部インセンティブ方法。

【請求項3】 実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを受け付ける第1の機能と、この第1の機能で受け付けた達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認する第2の機能と、この第2の機能で保険金の支払いを確認したとき、第1の機能で受け付けた申し込み内容を登録する第3の機能と、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の通知を受領する第4の機能と、この第4の機能で通知を受領したとき、第3の機能による登録内容を参照して当該申し込み内容に適合したか否かを判断する第5の機能と、この第5の機能で当該申し込み内容に適合したと判断されたときに、保険金の支払いを行う第6の機能と、をコンピュータに実現させるためのコンピュータ読取り可能な外部インセンティブプログラムが記憶された記憶媒

体。

【請求項4】 契約者から実行者の達成目標及び目標達成時間に関する申し込み及び保険料の支払いを受け、実行者が目標達成時間内に目標を達成したときに契約者に保険金を支払うシステムであって、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込み及び保険料に関する申し込み内容をデータベースに登録し、かつ、契約者から実行者が目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、当該データベースを参照して当該申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し報奨金の支払いを促すことを特徴とする情報処理サーバー。

【請求項5】 契約者から実行者の達成目標及び目標達成時間に関する申し込み及び保険料の支払いを受け、実行者が目標達成時間内に目標を達成したときに契約者に保険金を支払うシステムであって、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに認証を行なうことを特徴とする認証用サーバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込み及び保険料の支払いをシステム運営者が受け、実行者が目標達成時間内に目標を達成したときにシステム運営者が契約者に保険金を支払うシステムに係り、特に、インターネット上において前記システムを実現した外部インセンティブ・システムと、当該外部インセンティブ・システムで使用する情報処理サーバー及び認証用サーバーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、保険制度は、保険会社と契約者とは保険契約を交わし、当該契約に基づいて保険料を支払い、契約者が何らかの事故等に遭遇したときに、契約者あるいは契約において指定された者に保険金が支払われる制度として知られている。このような保険制度は、契約者に不測の事態が発生したときに保険金が支払われるため広く利用されているが、不測の事態に適用されるのみで、どちらかというと後ろ向きの制度といえることができる。これに対して、ある目的を持った者が所定の期間内に当該目的を達成したときに報酬を支払うという制度を採用すれば、その者に強力な動機付けを与えることができるため、より前向きの制度とすることができる。例えば、ある者が実用英語検定3級（以下、「英検3級」という）に合格しようとして勉強をしているとする。この者は英検3級に合格することに動機付け（インセンティブ）を持っている。しかしながら、実際には、英検3級の勉強をしなければならないはずが、勉強せずに遊んでしまったり、甚だしくは学費に使用すべき金銭を浪費してしまったりすることもある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このような者は自らインセンティブを高めていく必要があり、インセンティブを高める用具があると便利である。一方、資格試験受験を指導している予備校（以下、「学校」という）は、集客力をアップさせたいし、受講生がインセンティブを高めて一所懸命勉強し、みごとに合格して欲しいと考えている。そのためのツールがあると便利である。本発明は、上述した点に鑑みてなされたもので、インセンティブ（動機付け）を高めることができるようにした外部インセンティブ・システムと、このシステムに使用する情報処理サーバー及び認証用サーバーを提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明では、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを行なう契約者用処理装置と、当該契約者用処理装置からの達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに認証を行なう認証用サーバーと、前記認証用サーバーからの当該認証した契約者の申し込み内容をデータベースに登録し、かつ、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、当該データベースを参照して当該申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し保険金の支払いを促す情報処理サーバーとを備えたことを特徴とするものである。

【0005】請求項2記載の発明では、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを受け付ける第1のステップと、この第1のステップにおける達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認する第2のステップと、この第2のステップで保険金の支払いを確認したとき、第1のステップで受け付けた申し込み内容を登録する第3のステップと、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の通知を受領する第4のステップと、この第4のステップで通知を受領したとき、第3のステップでの登録内容を参照して当該申し込み内容に適合したか否かを判断する第5のステップと、この第5のステップで当該申し込み内容に適合した判断されたときに、保険金の支払いを行う第6のステップとからなることを特徴とする。

【0006】請求項3記載の発明では、コンピュータ読取り可能な記憶された記憶媒体に、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを受け付ける第1の機能と、この第1の機能で受け付けた達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認する第2の機能と、この第2の機能で保険金の支払いを確認したとき、第1の機能で受け付けた申し込み内容

を登録する第3の機能と、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の通知を受領する第4の機能と、この第4の機能で通知を受領したとき、第3の機能による登録内容を参照して当該申し込み内容に適合したか否かを判断する第5の機能と、この第5の機能で当該申し込み内容に適合したと判断されたときに、保険金の支払いを行う第6の機能と、実現可能なプログラムが記憶されていることを特徴とする。

【0007】請求項4記載の発明では、契約者から実行者の達成目標及び目標達成時間に関する申し込み及び保険料の支払いを受け、実行者が目標達成時間内に目標を達成したときに契約者に保険金を支払うシステムであって、情報処理サーバーは、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込み及び保険料に関する申し込み内容をデータベースに登録し、かつ、契約者から実行者が目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、当該データベースを参照して当該申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し報奨金の支払いを促すことを特徴とするものである。

【0008】請求項5記載の発明では、契約者から実行者の達成目標及び目標達成時間に関する申し込み及び保険料の支払いを受け、実行者が目標達成時間内に目標を達成したときに契約者（契約者が他人を受取人とする可）に保険金を支払うシステムであって、認証用サーバーは、実行者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに認証を行なうことを特徴とするものである。また、他の外部インセンティブ・システムとしては、契約者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを行なう契約者用処理装置と、当該契約者用処理装置からの達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに、契約者の申し込み内容をデータベースに登録し、かつ、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、当該データベースを参照して当該申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し保険金の支払いを促す情報処理サーバーとを備えたことを特徴とするものである。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態について図1ないし図7を参照して、詳細に説明する。

（第1の実施の形態）図1ないし図7は、本発明の第1の実施の形態を学校と受講生とに適用した例で説明するための図である。ここに、図1は、本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムを示すブロック図である。これらの図において、外部インセンティブ・システム1は、大別すると、契約者2が所有する契約者用パーソナルコンピュータ（契約者用処理装置）3と、学校（認証機関）4に設けられた認証用サーバー5と、シ

システム運営者6が所有する情報処理サーバー7とがインターネット9で接続された構成をしている。なお、ここに「契約者2」とは、外部インセンティブ・システム1に参画する者のことをいう。この契約者2は、実行者8の達成目標や条件を認証機関4に申請し掛金（保険料）を支払う。

【0010】また、「実行者8」とは、外部インセンティブ契約における達成目標や条件を実際に実行する者のことをいう。もちろん、契約者2が実行者8であってもかまわない。また、インセンティブを欲するのは、実行者8または契約者2の少なくとも一人である。契約者2がインセンティブを欲するというのは、実行者8にインセンティブを持たせたいという意味においてである。契約者2は、上記契約者用処理装置3を使用し、達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みを認証用サーバー5に対して行なうことができる。この契約者用処理装置3は、図示しないが、中央演算処理装置（CPU）、ROM（リード・オンリ・メモリ）、RAM（ランダム・アクセス・メモリ）、キーボードやマウスなどの入力装置、ハードディスク装置などの記憶装置、インターネット9に接続して通信を行なう通信制御装置、及び、プリンタやディスプレイなどの出力装置から構成されている。

【0011】また、「学校（認証機関）4」とは、実行者8が確かに達成目標を掲げて活動をしているということを認証する機関である。手順によっては、この認証機関が実行者8の達成目標や条件などの申請情報を、システム運営者6の情報処理サーバー7に伝達（登録）するようにしてもよい。また、学校（認証機関）4が契約者2とシステム運営者6との間にたつて掛金（保険料）の受け渡しを媒介する。前記認証用サーバー5は、当該契約者用処理装置3からの達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに認証を行ない、認証結果と申し込み内容とをインターネット9を介して情報処理サーバー7に送信する。この認証用サーバー5は、図示しないが、中央演算処理装置（CPU）、ROM、RAM、キーボードやマウスなどの入力装置、ハードディスク装置などの記憶装置、インターネット9に接続して通信を行なう通信制御装置、及び、プリンタやディスプレイなどの出力装置からなる。

【0012】また、「システム運営者6」とは、情報処理サーバー7を運営するとともに外部インセンティブ契約を運営するもののことをいう。システム運営者6が所有する情報処理サーバー7は、図示しないが、中央演算処理装置（CPU）、ROM、RAM、キーボードやマウスなどの入力装置、ハードディスク装置などの記憶装置、インターネット9に接続して通信を行なう通信制御装置、及び、プリンタやディスプレイなどの出力装置からなる。

【0013】また、この情報処理サーバー7は、認証用サーバー5からの当該認証した実行者8の申し込み内容をデータベース71に登録し、かつ、契約者2から実行者が目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、当該データベース71を参照して当該申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し保険金の支払いを促すことができる。

【0014】図2は、本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムを構成する情報処理サーバー7が備えるデータベース71の例を説明するための図である。情報処理サーバー7に記憶されているデータベース71は、図2に示すように、契約者2の氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、ファクシミリ番号、電子メールアドレス、実行者との間柄などを記述する記憶エリア71aと、実行者8の氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、ファクシミリ番号、電子メールアドレス、実行者との間柄などを記述する記憶エリア71bと、達成目標を記述する記憶エリア71cと、期限を記述する記憶エリア71dと、掛金（保険料）の金額を記述する記憶エリア71eと、達成された場合の報酬（報奨）金額を記述する記憶エリア71fと、活動内容を記述する記憶エリア71gと、認証機関4への通知、非通知の内容を記述する記憶エリア71hと、サイト等の紹介をするか否かを記述する記憶エリア71iと、その他を記述する記憶エリア71jとから構成されている。なお、上記構成のほかに、当該外部インセンティブ・システム1を構成する上で、他に必要な条件を以下に説明する。

【0015】契約者2とシステム運営者6との間に認証機関4を介在させることにより、契約者2と実行者8とが結託し簡単に目標達成させてしまうことを防止している。なぜなら、契約者2は、報酬を得るために、目標達成可能な実行者8を外部から募集して容易に目標を達成してしまうことも考え得るからである。しかしながら、認証機関4が、実行者8が真実に目標達成を目指して活動していることを認証するため、このような結託を防ぐことができるのである。また、契約者2（および実行者8）と認証機関4が結託し報酬を搾取することも困難である。なぜなら、認証機関4は学校であり、実行者8の目標達成を支援する立場にあり、実行者8が目標達成のための活動をしていないならば、認証機関4の支援活動と認証内容とに相違を生じてしまうためである。例えば、学校が認証機関4である場合において、実行者8が受講者でないならば、受講者でない者を実行者8として認証していた事実は容易に見つけることができるからである。

【0016】さらに、システム運営者6は、契約者2や実行者8や認証機関4とも外部インセンティブ契約以外には関係がなく、これらの外部のものであることが必要である。認証機関4がそのままシステム運営者6になっていないために、複数の認証機関4、4、…が外部イン

センティブ・システム1を気軽に利用することが可能になる。また、契約者2も、認証機関4をとおしてシステム運営者6に契約を申し込むので、さまざまな目標に関して気軽に、当該外部インセンティブ・システム1を利用することができる。また、認証機関4にとっても、外部システム運営者6を求めることによって、不正競争を防止し正当な競争を行うことができ、またそのことにより、契約者2や実行者8を保護することになる。

【0017】加えて、目標の達成は明確な基準を持つ者に限られる。契約者2が申請する目標は、客観的にその達成が認識できるものに限られる。たとえば、英検、日商簿記、法務検定などの資格検定試験、司法試験、税理士試験などの国家資格、税務上の確定申告書における課税所得金額などである。すなわち、その達成の認定が、この外部インセンティブ・システム1の契約者2、実行者8、認証機関4およびシステム運営者6のいずれにも関係のない機関によって行われるものである必要がある。これにより、目標の達成が恣意的なものにならず、達成されたものが実行者の誇りにもなり、さらなる活動へと誘因をもたらしものと考えられる。また、認証機関4とシステム運営者6との間の関係についての条件をさらに説明しておく。認証機関4とシステム運営者6との関係は、両者の意思に基づいて決定されるものとする。

【0018】認証機関4が単に認証の機能をのみ果たしている場合には、認証に伴う手数料をシステム運営者6から受け取る権利が認証機関4に生ずる。逆に、認証機関4が実行者8の目標達成に支援活動を行っている場合において、外部インセンティブ・システム1が効果をもたらすときは、認証機関4は、システム運営者6に報酬を支払う契機がある。認証機関4の信頼性に不安がある場合には、システム運営者6は、認証機関4に対し保証金の差入れを求めるなどをする。

【0019】このように構成されている外部インセンティブ・システムの動作を、図1及び図2を基に図3ないし図7を参照して説明する。ここに、図3は、本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システム全体の流れを説明するための図である。図4は、本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上に表示される受講申し込み画面を説明するための図である。図5は、本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上に表示される受講申し込み受付画面を説明するための図である。また、図6は、本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上に表示される外部インセンティブ契約申し込み画面の一部を示す図である。図7は、本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上に表示される外部イン

センティブ契約申し込み画面の他の一部を示す図である。

【0020】まず、契約者2は、実行者8の目標設定や達成期間や動機等を聞き、学校（認証機関4）に対して受講申し込みと、外部インセンティブ契約の契約の申し込みを行なう。すなわち、契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3を操作し、図4に示すような受講申し込み画面200をディスプレイ上に表示させる。受講申し込み画面200には、受講講座用入力窓201に講座名を記入する。受講講座名が判らないときには、講座一覧表示用矢印202をマウスを使用してクリックする度に、表示窓203に講座名が表示される。受講講座名が判れば、契約者2は、マウスあるいはキーボードを使用して当該受講講座名を受講講座用入力窓201に入力する。

【0021】次に、契約者2は、受講料の支払い方法について、振込の指定入力窓204か、クレジットの指定入力窓205をマウス等でチェックする。クレジットの場合には、矢印206を押すことにより、クレジット会社名が表示窓207に表示されるので、それをクリックすると、クレジットによる支払いが可能になる。さらに、契約者2は、氏名入力窓208にキーボードから実行者8の氏名を入力し、実行者8のフリガナ入力窓209にフリガナをキーボードから入力する。また、契約者2は、実行者8の生年月日について入力窓210にキーボードから入力し、かつ、実行者8の住所について県名入力窓211、番地までを住所入力窓212にキーボードから入力する。

【0022】また、契約者2は、画面200を使用し、電話番号入力窓213、ファクシミリ番号入力窓214にキーボードから入力し、さらに、男性215、女性216の別を入力し、電子メールアドレスを入力窓217にキーボードから入力する。すると、表示窓218には、送られる電子メールアドレスが表示される。契約者2は、すべての入力項目を入力したときに、送信ボタン219を入力する。すると、契約者用パーソナルコンピュータ3は、上記受講申し込み内容をインターネット9を介して学校（認証機関）4の認証用サーバー5に送信する。認証機関4の認証用サーバー5は、送られてきた受講申し込み内容に問題がなければ、直ちに、申し込みが正常に行われた旨の返信データをインターネット9を介して契約者用パーソナルコンピュータ3に送るとともに、電子メールアドレスに受け付けた受講申し込み内容をインターネット9を介して送信する。

【0023】すると、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上には、図5に示すような画面300が表示される。この画面300には、図5に示すように、「受講申し込みは正常に送信されました。」「折り返しの電子メールで受講内容に間違いがないか確認してください。」「引き続き『サクセス・インシュアラ

ンス』の申し込みをしますか？する場合には、次のボタンをクリックして下さい。」と表示される。そして、画面300中に、「サクセス・インシュアランスへ」ボタン301が表示されている。

【0024】このような状態が終了すると、受講の設け込みが完了したことになる（図3のステップ101；YES）。そして、外部インセンティブ契約の申し込み待ちになる（図3のステップ102；NO）。次に、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上に図5に示す画面300が表示されている。契約者2は、マウスを使用してディスプレイ上の画面300の「サクセス・インシュアランスへ」ボタン301をクリックする（ステップ102；YES）。この情報は、契約者用パーソナルコンピュータ3からインターネット9を介して認証機関4の認証用サーバー5に伝送される。認証機関4の認証用サーバー5は、直ちに、サクセス・インシュアランス申し込み画面用データをインターネット9を介して契約者用パーソナルコンピュータ3に送信する。

【0025】すると、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイには、図6及び図7に示す画面400a、400bが表示される。図6と図7とはもともと一枚の画面であるが、図示できないために、図6と図7とに分けたものである。申込み画面400a、400bには、以下の内容が必要となる。

- （ア）達成目標。
- （イ）期限。
- （ウ）掛金の金額およびその支払方法。
- （エ）契約者および実行者の氏名、生年月日、住所、契約者と実行者の間柄、Eメールアドレス。
- （オ）目標を達成するための活動の内容（一部で可）。
- （カ）報酬が支払われるときにその旨を認証機関にも通知するかどうか。
- （キ）目標を達成するために工夫しようと考えていること。
- （ク）なぜその目標を達成したいのか（動機）。
- （ケ）その他、同じような目標に向かっている人達の仲間になりたいかどうか、仲間を作るためのサイトの紹介などを受けたいかどうか。

【0026】以上の内容が以下に詳細に述べる画面400a、400bに記載されることになる。まず、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイには、図6に示す画面400aが表示される。この画面400aは、サクセス・インシュアランス申し込み画面の一部である。契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400aにおいて、実行者8の達成目標と期限とを入力窓401、402にキーボード等を使用して入力する。

【0027】次に、契約者2は、掛金（保険料）の支払い方法（振込またはクレジット）を入力窓403、404にマウスを使用して入力する。なお、クレジットの場合

には、矢印405により表示窓406にクレジット会社名が表示されてクレジット会社を特定できる。次に、契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400aを使用し、契約者2の氏名、フリガナ、性別、生年月日、住所、電話番号、ファクシミリ番号、電子メールアドレスを入力窓407、408、…、415を使用して入力する。

【0028】同様に、契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400aを使用し、実行者8の氏名、フリガナ、性別、生年月日、住所、電話番号、ファクシミリ番号、電子メールアドレスを入力窓417、418、…、425を使用して入力する。そして、契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400aを使用し、契約者2と実行者8との間柄について入力窓426に入力する。なお、家族等である場合には、間柄は、わかっているので、矢印427と、表示窓428により特定することができる。

【0029】次に、契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400aを使用し、目標を達成するための活動内容として、本校における受講、他校における受講、その他について選択窓429、430、431により入力して特定させる。また、契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400aを使用し、入力窓432に「その他の内容」を入力する。また、契約者2は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400aを使用し、「報酬が支払われるときにその内容を学校にも通知されることとするかどうか」を通知窓433、非通知窓434として入力する。

【0030】次に、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイには、図7に示す画面400bが表示される。この画面400bは、サクセス・インシュアランス申し込み画面の他の一部である。この画面は、契約者2より、むしろ実行者8に記入させるほうが望ましい。実行者8は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400bを使用し、入力窓435に、「目標を達成するために工夫しようと考えていること」についてキーボードを使用して入力する。同様に、実行者8は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400bを使用し、入力窓435に、「なぜその目標を達成したのですか」という質問の回答をキーボードから入力する。

【0031】また、実行者8は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400bを使用し、「同じような目標に向かっている人達の仲間になりたいですか」という質問に対する回答を窓437、438に入力する。さらに、実行者8は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示され

ている画面400bを使用し、「仲間を作るためのサイトの紹介などを受けたいですか」という質問に対する回答を窓439、440に入力する。また、実行者8は、契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400bを使用し、その他意見があれば、入力窓441にキーボードから入力する。なお、この場合、意見がないときには、入力する必要はない。

【0032】上記必要事項が全て入力できていないときには、入力待ちになる(図3のステップ103; NO)。ここで、契約者2が契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイに表示されている画面400a、400bにおける全ての記入事項をチェックし、記入漏れがないと判断したときには、契約者2はマウスを使用して申込みボタン442をクリックする(図3のステップ103; YES)。すると、契約者用パーソナルコンピュータ3は、前記申込み内容のデータをインターネット9を介して認証機関4の認証用サーバー5に転送する。

【0033】認証機関4の認証用サーバー5は、受信した申込み内容のデータをチェックし、所定の書式等が整っていれば、申込みを受け付けた旨のデータをインターネット9を介して契約者用パーソナルコンピュータ3に送信するとともに、電子メールアドレスに対して申込み内容をインターネット9を介して送信する。また、認証用サーバー5は、サクセス・インシュアランスの申込みがあった旨を認証機関4の運営者に知らせる。認証機関4の運営者は、申込み内容を確認し、問題がなければ、当該サクセス・インシュアランスの申込み内容データに、認証した旨の認証データを添付してインターネット9を介してシステム運営者6の情報処理サーバー7に送信する。

【0034】情報処理サーバー7は、認証機関4の認証用サーバー5からの申込み内容データに認証データが添付されていることを条件に、図2に示すデータベース71の各記憶エリア71a、71b、…、71jにそれぞれ該当するデータを格納する。また、情報処理サーバー7は、データベース71の各記憶エリア71iのデータから、仲間づくりの情報が必要か否かを確認し、必要であるときには(図3の(ステップ104; YES)、当該データベース71の他のエリアにあるデータベースから仲間づくりの情報を抽出し、インターネット9を介して契約者用パーソナルコンピュータ3に送信する。これにより、契約者用パーソナルコンピュータ3には、仲間づくりの情報が与えられる(ステップ105)。仲間づくりの情報が不要でないとき(図3のステップ104; NO)、あるいは、仲間づくりの情報を送信した後に(図3のステップ105)、目標を達成したことを契約者2の契約者用パーソナルコンピュータ3からインターネット9を介して情報処理サーバー7に与えられたとき、情報処理サーバー7は、データベース71の内容に照らして問題なければ、ディスプレイやプリンタにその旨を表示

して保険の支払いを促す。

【0035】すると、システム運営者6は、上記情報処理サーバー7のディスプレイやプリンタに表示された報酬(保険金)の支払いの促す内容を確認したときには、契約者2に対して目標を達成したことを証する書面の提示を求め、目標達成が確認されたときには(図3のステップ106; YES)、システム運営者6は、契約者2に対して報酬を一定の方法により支払う(図3のステップ107)。また、システム運営者6は、契約者2に対し報酬を支払ったときには、情報処理サーバー7に対して報酬を支払った旨の内容を入力し、当該契約が終了したことを情報処理サーバー7に通知する。なお、認証機関4の認証用サーバー5は、認証した内容の保管の義務を負うものとする。

【0036】このような第1の実施の形態によれば、次のような効果がある。

- (1) 実行者は報酬を得ようとして努力を持続する。
- (2) 資格試験受験を指導している学校などは、集客力をアップさせることができ、かつ、受講生がインセンティブを高めて一所懸命勉強し、みごとに合格させることができる。

【0037】(第2の実施の形態) 本発明の第2の実施の形態は、いずれかの段階でオフラインが入る場合の外部インセンティブ・システムである。第2の実施の形態では、契約者2から認証機関4への申込みの段階、認証機関4からシステム運営者6への認証の段階、その他の段階をオフラインとすることが可能である。典型的には次のケースがある。

- (A) 契約者2が外部インセンティブ契約の申込をするときに、認証機関4に出向いて書類で申し込む場合。
- (B) 認証機関4が認証する場合に、申込内容を認証しシステム運営者6のデータベースに登録する。この作業は、認証用サーバー5及びインターネット9上で行う。
- (C) 契約者2が報酬を請求する場合、システム運営者6の受付に出向き、契約に基づいて、目標が達成された旨を通知し、報酬を請求する。目標が達成されたことを証する証憑は、直接、システム運営者の閲覧に供し、システム運営者においてコピーをとる。

(D) 報酬の支払いの通知をする場合に、報酬の支払を郵便その他の配達方法で通知する。

(E) 報酬の支払いの通知をする場合に、報酬の支払の内容を電子メールで通知する。

【0038】本発明の第2の実施の形態によれば、次のような利点がある。

- (1) 実行者は報酬を得ようとして努力を持続する。
- (2) 資格試験受験を指導している学校などは、集客力をアップさせることができ、かつ、受講生がインセンティブを高めて一所懸命勉強し、みごとに合格させることができる。

【0039】(第3の実施の形態) 本発明の第3の実施

の形態は、すべての意思表示をオフラインで行う外部インセンティブ・システムである。この外部インセンティブ・システムは、図1において、契約者用パーソナルコンピュータ3もなく、単に、認証機関4には認証用サーバー5があり、インターネット9等で接続されていない構成である。なお、契約者2、実行者8、認証機関4、システム運営者6は実在する。このような外部インセンティブ・システムは、次のような構成をとる。

【0040】(A) 契約者2が外部インセンティブ契約を申し込む場合に、契約者2が認証機関4に出向いて書類で申し込む。

(B) 認証機関4は、申込内容を認証し、書面でシステム運営者6に渡す。また、認証機関4は認証用サーバー5のデータベース(図示せず)に当該認証された書面の内容を登録する。認証の表示および登録内容を書類に記入し、これを郵便その他の配達方法でシステム運営者6に送付する。システム運営者6は、その書類を閲覧し、情報処理サーバー7のデータベース71に登録する。

(C) 契約者2が報酬を請求するときに、契約者2がシステム運営者6の受付に出向き、契約に基づいて、目標が達成された旨を通知し、報酬を請求する。目標が達成されたことを証する証憑は、直接、システム運営者6の閲覧に供し、システム運営者6においてコピーをとる。

(D) システム運営者6から契約者2に対する報酬支払い等の通知は、システム運営者6から契約者2に対して報酬の支払および支払金額を記した書類を郵便その他の配達方法で送付する。

【0041】本発明の第3の実施の形態によれば、次のような利点がある。

- (1) 実行者は報酬を得ようとして努力を持続する。
- (2) 資格試験受験を指導している学校などは、集客力をアップさせることができ、かつ、受講生がインセンティブを高めて一所懸命勉強し、みごとに合格させることができる。

(金銭の流れ) なお、上記第1の実施の形態ないし第3の実施の形態において、金銭の流れは次のようになる。契約者2(および実行者8)と、認証機関4と、システム運営者6との間で次のように金銭の授受がなされる。まず、契約者2が外部インセンティブ契約を申込んだ場合、申込と同時に掛金(保険料)を認証機関4に支払う(ネット決済もできる)。次に、認証機関4は、預かった掛金を認証と同時にシステム運営者6に払込むことになる。

【0042】さらに、システム運営者6は契約者2に対して、報酬の支払を通知すると同時に報酬を契約者2に支払う。上記各実施の形態では上述した金銭の流れとなる。

【0043】(第4の実施の形態) 本発明の第4の実施の形態は、認証機関が存在しない特例について説明す

る。したがって、この第4の実施の形態では、図1において、認証機関4と認証用サーバー5とがなく、契約者用パーソナルコンピュータ3と、情報処理サーバー7とがインターネット9で接続された構成となる。また、この外部インセンティブ・システムに登場する人物は、契約者2、システム運営者6、実行者8となり、認証機関4はいないことになる。契約者2が契約者用パーソナルコンピュータ3を使用し、契約者用パーソナルコンピュータ3と情報処理サーバー7とを接続し、情報処理サーバー7に申込みを行なう。情報処理サーバー7は、申込みがあったことをシステム運営者6に通知する。システム運営者6は、申込内容が認証を要さないほど確実であれば申込を受諾し、その旨を情報処理サーバー7に入力する。これにより、情報処理サーバー7からインターネット9を介して契約者用パーソナルコンピュータ3に申込みが受け付けられたことを通知する。また、契約者2は、実行者8が決めた期間に目標を達成したときに、契約者用パーソナルコンピュータ3を使用して、情報処理サーバー7に目標が達成された旨の通知をし報酬の支払いを請求する。情報処理サーバー7は、報酬の請求があったときには、内容に問題がなければ、システム運営者6に報酬の支払いを促す。

【0044】システム運営者6は、契約者2に対して目標達成した旨の証明書の提示を求め、証明により達成が確認できれば、報酬の支払を通知するこのような第4の実施の形態では、次のように金銭が流れることになる。契約者2はシステム運営者6に外部インセンティブ契約の申込みを行なうと同時に、掛金を支払う。また、システム運営者6が契約者2に対して、報酬の支払を通知するときには、通知と同時に報酬を契約者2に支払うことになる。

【0045】このような第2の実施の形態によれば、次のような利点がある。

- (1) 実行者は報酬を得ようとして努力を持続する。
- (2) 資格試験受験を指導している学校などは、集客力をアップさせることができ、かつ、受講生がインセンティブを高めて一所懸命勉強し、みごとに合格させることができる。

【0046】(その他) この外部インセンティブ契約書の契約内容は例えば次の通りにすればよい。外部インセンティブ契約書(例示)

第1条(目的)

この契約は、実行者(乙)の第4条に定める項目の達成を動機づけることを目的とする。

第2条(報酬)

システム運営者(甲)は、実行者(乙)が第4条に定める項目を達成した場合には、第5条に定める報酬を契約者(丙)に支払うものとする。

第3条(掛金)

契約者(丙)は、この契約を結ぶと同時に第6条に定め

る金額の掛金を支払うものとする。掛金の全額の支払がこの契約の成立と同時にされない場合には、この契約は無効とする。なお、本契約においては、実行者（乙）は契約者（丙）と同一人とする。

【0047】第4条（達成すべき項目）

第1条及び第2条に定める実行者（乙）が達成すべき項目は、平成12年6月8日においてマックに申し込んだ平成13年度司法試験第二次試験に実行者（乙）が合格することとする。

第5条（報酬の額）

第2条に定める報酬の額は、第6条に定める金額の掛金の2倍とする。

第6条（掛金の額）

第3条に定める掛金の額は、金10,000円とする。

第7条（掛金の無返金）

第3条に定める掛金は、原則としていかなる事情があろうとシステム運営者（甲）から契約者（丙）に返金されることはない。

第8条（報酬の支払）

第2条に定める報酬は、実行者（乙）からシステム運営者（甲）に第9条に定める方法により報酬の請求があつ

単純化するため、 $Z=500$ とし、 $S=1$ とし、 $T=10,000$ 円とすると

$500Y \cdot 10,000 \text{円} \cdot X < 500 \cdot 10,000 \text{円}$ …数式（1）

で計算すると、 $Y=0.4$ とすると、 $X < 2.5$ となる。そこで、契約書においては、報酬の額を掛金の額の2倍としている。

【0050】（第5の実施の形態）本発明の第5の実施の形態は、外部インセンティブ・システムを会計事務所と事業会社とで構成した例である。また、この外部インセンティブ・システムでも、図1と同様に、実行者8である事業会社には契約者用パーソナルコンピュータ3が、認証機関4である会計事務所には認証用サーバー5が、及びシステム運営者6には情報処理サーバー7がそれぞれ設けられている。

（1）実行者（＝契約者、＝法人（事業会社））が決算日前に認証機関4としての会計事務所に節税策を相談する。

（2）認証機関4たる会計事務所が節税策をプランニングする。

（3）実行者8である事業会社が決算日前に認証機関4である会計事務所に外部インセンティブ契約を申し込む。このとき、一定の掛金を認証機関4に会計事務所に支払う（振込又はネット決済）。

（4）認証機関4である会計事務所が外部インセンティブ契約の成立を確認し、実行者8である事業会社にそのIDが記載された電子メールアドレスに送付する。

【0051】（5）認証機関4である会計事務所がそのIDおよび実行者8である事業会社に関する一定の情報を認証し、システム運営者6の情報処理サーバー7に登録する。

た場合には、その報酬の請求がシステム運営者（甲）に達した時から7日以内に第10条に定める方法で支払われなければならない。

【0048】第9条（報酬の請求方法）

第8条に定める報酬の請求は、合格証書の原本をシステム運営者（甲）に提示した上で、別表に掲げる請求書の各欄に所定の事項を記入してシステム運営者（甲）に提示する方法による。

第10条（報酬の支払方法）

第8条に定める報酬の支払方法は、受取人（丙）名義 □□銀行 ○○支店普通預金 N o . 35351 に第5条に定める報酬の全額を振り込む方法による。

別表（申込時の入力項目と同様なため省略する）

【0049】このような外部インセンティブ契約書（例示）に定める掛金と報酬の額の定め方は、次の順に考えた結果によっている（例示）。報酬の額を掛金の額のX倍とし、実行者8が達成すべき項目を達成する確率をYとし、契約者2の数をZ人とし、かつ、システム運営者6の数をS人とし、掛金の額をTとし、システム運営者6の利益が必ずプラスになるようにするという条件で下記数式（1）により算出した。

（6）決算日後、実行者8たる事業会社は、法人税申告書およびその添付書類（以下「申告書等」という）を作成し所轄税務署長あてに提出する。その提出された申告書等およびその決算書にかかる監査証明書をシステム運営者6の閲覧に供した上、その申告書および監査証明書のコピーをシステム運営者6においてとる。

（7）外部インセンティブ契約のシステム運営者6は、認証機関4たる会計事務所が登録した内容を確認し、システムおよびデータの保守を行う。

（8）実行者8である事業会社は、達成項目を達成した場合には、達成したことを証する書面をシステム運営者6に提示して報酬の請求を求める。

【0052】（9）システム運営者6は、実行者8たる事業会社からの請求を確認し、契約に基づく報酬を一定の方法により実行者8たる事業会社に支払う。申込時に契約者用パーソナルコンピュータ3に入力するのは次の項目である。

（ア）達成目標→本年の所得金額の1.2倍（修正に制限あり）。

（イ）期限→1事業年度後（修正不可：契約によっては変化あり）。

（ウ）掛金の金額およびその支払方法（振込かネット決済かを選択する）。

（エ）契約者および実行者の氏名、生年月日、住所、契約者と実行者の間柄、電子メールアドレス、契約を申し込む時における本年の所得金額の見込み額、業種（制限あり）、通常営業循環期間（1年超の場合は契約無効）

など。

(オ) 目標を達成するための活動の内容(営業活動の強化など、自由に書き込める欄あり:ただし必須)。

(カ) 報酬が支払われるときにその旨を認証機関にも通知するかどうか(選択)。

(キ) 目標を達成するために工夫しようと考えていること(自由に書き込める)。

(ク) なぜその目標を達成したいのか(動機:自由に書き込める)。

(ケ) 同じような目標に向かっている人達の仲間になりたいかどうか(選択) 仲間を作るためのサイトの紹介などを受けたかどうか(選択)、その他(意見:自由に書き込める)。

【0053】なお、上記第5の実施の形態を実行あるものにするには、外部インセンティブ契約書を作成することが望ましい。この外部インセンティブ契約は、認証機関4が会計事務所であり、契約者2(あるいは実行者8)が事業会社であり、しかも、達成する内容にも違いがあることから、これらの特殊性を考慮して、上記外部インセンティブ契約書を参照しつつ特殊性に合わせて変形して作成すればよい。また、掛金や報酬などの金額についても、上述した特殊性を考慮して決定すればよい。以上説明したように本発明の第5の実施の形態によれば、実行者は節税策を忠実にかつ継続して努力するようになる。

【0054】

【発明の効果】以上説明したように、請求項各号記載の発明によれば、契約者自身の達成目標及び目標達成時間に関する申し込みと保険料支払い方法についての申し込みをし、達成目標及び目標達成時間に関する申し込みについて保険料支払いが完了したことを確認できたときに認証を行ない、当該認証した契約者の申し込み内容をデータベースに登録し、かつ、契約者から目標達成時間内に当該目標を達成した旨の申し込みを受けたときに、当該データベースを参照して当該申し込み内容に適合したときに内容の正当性を回答し保険金の支払いを促すようにしたので、次のような利点がある。

(1) 実行者は報酬を得ようとして努力を持続する。

(2) 資格試験受験を指導している学校などは、集客力をアップさせることができ、かつ、受講生がインセンティブを高めて一所懸命勉強し、みごとに合格させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムを示すブロック図である。

【図2】本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムを構成する情報処理サーバーが備えるデータベースの例を説明するための図である。

【図3】本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システム全体の流れを説明するための図である。

【図4】本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータのディスプレイ上に表示される受講申し込み画面を説明するための図である。

【図5】本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータのディスプレイ上に表示される受講申し込み受け画面を説明するための図である。

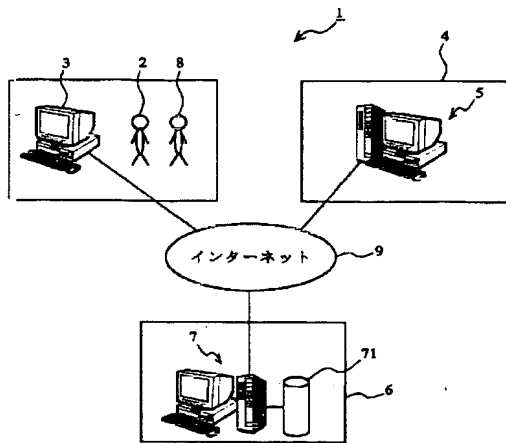
【図6】本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上に表示される外部インセンティブ契約申し込み画面の一部を示す図である。

【図7】本発明の実施の形態に係る外部インセンティブ・システムにおいて契約者用パーソナルコンピュータ3のディスプレイ上に表示される外部インセンティブ契約申し込み画面の他の一部を示す図である。

【符号の説明】

- 1 外部インセンティブ・システム
- 2 契約者
- 3 契約者用パーソナルコンピュータ
- 4 認証機関
- 5 認証用サーバー
- 6 システム運営者
- 7 情報処理サーバー
- 8 実行者
- 71 データベース

【図1】



【図5】

300

○ 受講生申し込みは正常に送信されました

○ 折り返しのEメールで受講内容に間違いがないか確認してください

○ 引きつづき サクセス・インシュアランス の申し込みをしますか
 する場合は次のボタンをクリックして下さい

301
サクセス・インシュアランスへ

【図2】

71a	71b	71c	71d	71e	71f	71g	71h	71i	71j
契約者 氏名、生年月日、性別、 住所、〒、FAX、 E-mail (実行者との関係)	実行者 氏名、生年月日、性別、 住所、〒、FAX、 E-mail (契約者との関係)	達成目標	期間	課金の金額	達成された 場合の 報酬の金額	振込内容	郵便振替への 通知・振込先	料金の紹介を 受けるか否か	その他

【図4】

200

受講申し込み
 こちらからオンライン受講申し込みができます。
 下記入力フォームに必要事項を入力し送信ボタンをクリックして下さい

201 受講講座 講座一覧 ▼ 202

受講料の支払方法 ☐ 振込 ☐ クレジット

203 クレジットの場合 ▼ 206

204 氏名 (金角) フリガナ (金角) 205

生年月日 ☐ 大正 ☐ 昭和 年 月 日 209

住所 211 県 (郵便まで) 212

213 電話番号 (半角 例 03-1234-5678)

214 FAX (半角 例 03-1234-5678)

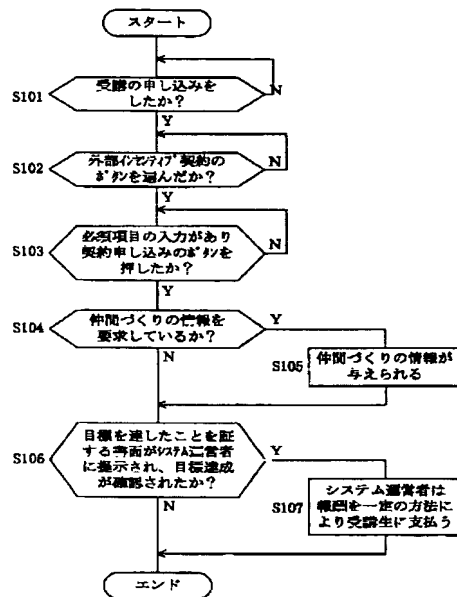
215 性別 ☐ 男性 ☐ 女性 216

E-mail 217

E-mail (郵便) 218

送信 219

【図3】



【図6】

サクセス インシュアランス 申し込み

こちらからサクセス インシュアランスの申し込みができます。
 説明書、契約書をよく読んでから下記の必要事項、任意事項を入力し
 送信ボタンをクリックして下さい。

達成目標 複写済み (修正不可) 401 に合格すること

期限 複写済み (修正不可) 402

謝金の金額 円

謝金の支払方法 ☐ 403 額込 ☐ 404 クレジット

契約者

氏名 407

フリガナ 408

性別 ☐ 409 男性 ☐ 410 女性

生年月日 411

住所 412

Tel. 413

FAX 414

E-mail 415

(受贈生のデータが複写される、
契約によっては修正不可)

契約者と
実行者の関係 426

実行者

氏名 417

フリガナ 418

性別 ☐ 419 男性 ☐ 420 女性

生年月日 421

住所 422

Tel. 423

FAX 424

E-mail 425

(受贈生のデータが複写される、
修正可能)

目標を達成するための
活動内容 (複数可)

☐ 430 本校における受贈
活動 ☐ 429 他校における学習
☐ 431 その他

(その他の内容) 432

報酬が支払われるときにその旨を
本校にも通知されることとするかどうか

☐ 433 通知 ☐ 434 非通知

【図7】

目標を達成するために
工夫しようと考えていること
(自由に書いて下さい、
任意項目です)

なぜその目標を
達成したいのですか。
(自由に書いて下さい、
任意項目です)

同じような目標に
向かっている人達の
仲間になりたいですか。
(任意)

仲間を作るためのサイトの
紹介などを受けたいですか。
(任意)

その他ご意見があれば
ご自由に記入下さい。
(任意)

☐ 437 なりたい ☐ 438 なりたくない

☐ 439 受けたい ☐ 440 受けたくない

申し込みする 442